

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 10010370

政策目標	4 つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 維持事業であるため、毎年実施する事業である。
基本施策	20 防犯・交通安全の推進	事業優先度	B	
単位施策	2 交通安全対策の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	道路区画線塗装事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	10 建設水道課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	区画線延長		#N/A	
事業目標	75,000m	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加	無	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	○町道の舗装道路で、見えにくくなった中心線や外側線を塗装する。 ・塗装総延長 L=75,000m (住民活動費との予算合算発注事業)	塗装総延長 L=15,000 m	塗装総延長 L=15,000 m	塗装総延長 L=15,000 m	塗装総延長 L=15,000 m	塗装総延長 L=15,000 m
計 画 事 業 費	事業費(千円)	3,440	600	680	720	720
財 源 内 訳	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	3,440	600	680	720	720
実 績 事 業 費	事業費(千円)	1,113	520	593	0	0
関 連 事 項	特定財源の名称					
	【評価・実績】	(実施内容等) 塗装総延長 L=14,963m	(実施内容等) 塗装総延長 L=13,861 m	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	14,963m	13,861m	15,000m	15,000m
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	87%	87%	0%	0%
	全体達成率	15%	32%	32%	32%	
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆			

事業名	道路区画線塗装事業	評価者	管理職 職氏名	建設水道課長	渡邊孝司
		評価者	作成者 職氏名	土木管理係長	田原慎也

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	道路利用者、道路	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	区画線延長	
【抱える課題やニーズは】	舗装道路の安全な通行が保てない	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	車両や歩行者の通行の安全の確保	① 区画線延長/区画線延長	目標年度	平成26年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	車両や歩行者の通行の安全の確保		目標値	13,861 m
			実績値	13,861 m
			達成度	100.0 %
		②	目標年度	平成26年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0! %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	①民間委託により実施	住民生活課予算(住民活動費)と合算し、入札により委託発注し実施した。(H26委託料:1,663千円)		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	舗装道路の薄くなった中心線や外側線を塗装することは、車両や歩行者の通行の安全を図る上で、町が担う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	当該事業を実施したことにより、薄くなった中心線や外側線がはっきり視認でき、交通の安全が図られた。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	舗装道路の薄くなった中心線や外側線を調査し、必要路線における適切な塗装ができたことは、効率的であると判断する。
効率的/概ね効率的	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	舗装道路の薄くなった中心線や外側線を塗装することで、車両や歩行者の通行の安全が図れたことは、不特定多数の道路利用者に対して公平であると判断する。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
課題あり	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
舗装道路の交通安全確保上、中心線や外側線塗装は、今後も計画通り事業を進めることが適当であると判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
舗装道路の中心線や外側線がはっきり視認できることは、交通の安全確保のため必要不可欠であり、継続、現状維持が適当である。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止